

学びを 止めるな



Illustrated by Takashi Inui

第60回(2021年)
全国保育問題研究集会
東京集会(オンライン)
実行委員会
〒113-0033
文京区本郷 5-30-20
サンライズ本郷 7F
TEL 03-3818-8026
FAX 03-3818-8026

松本奈美

私は今年度、年長組を担当していて、個性豊かな子どもたちと毎日楽しく過ごしています。子どもたちの中には障がいを持つ子もいます。今回の集会の分科会では障害児保育を選択しました。障がいを持つ子どもたちが周りの仲間とどのようにかかわっていきけるのかなど、様々な立場の方々と話し合い、障害児保育への理解を深めていけたらと思っています。

今回はこのような状況の中ではありますが、全国の皆さんとお話できるのを楽しみにしています。

「参加しましょ。お勉強しましょ。」 共田鍾貴

少し前に集会提案号が届き「ふむふむ」と、さっそく目を通しました。参加しない分科会の提案もがっつり読めるのが保間研のいい所。違う分科会の提案に「あー、この提案聞きたいなあ」なんて移り気な私。しかし！コロナ禍で制限のある子どもたちの、運動機能の低下も気になる所。身体づくり分科会に参加して、全国の方と討論しながらしっかりお勉強させていただきます。

提案号には載ってませんが、記念講演の汐見・大宮両氏のビック対談も興味津々！いったい2人が、どんな切り口で話を展開していくのだろうか…。

コロナ禍だから学べない。いえいえ、学ぶ場所は目の前にあります。もちろん、対面で学ぶ事が一番ですが、だからといって学ばなくてはいはずはありません。だってそれは、仕事の質を高めるからです。

つ・ま・り、東京集会に参加しましょ。学びを止めないために。

全国のみなさん、学び、そして語りましょう！

東京保間研会員・東京集会実行委員から全国の皆さんへ向けたメッセージを集めました。

「はじめての全国集会へ！」 越川葉子

私はこれまで全国集会に参加したことがありませんでした。大学で保育者養成課程の教員になって保間研を知ったこともあり、なかなか全国集会への参加に踏み切れなかったのが実情でした。

そして、今年、初めて全国集会に参加します。全国集会のオンライン開催は、私のような保間研入門者にも、広く学びの「窓」を開く機会になるはずです。

東京保間研では文学部会に参加していますが、全国集会では障害児保育に申し込みしました。いつもと違う部会に参加して、新たな刺激を受けたいと思っています。保育者がどのような問題意識をもって保育や社会と向き合っているのか。全国のみなさんの声が聞けることを楽しみにしています。

佐々木香

「オンライン集会なんて、みんなが二の足を踏むんじゃないかな？」1年前の私はそう思っていました。しかし、今や私の園でも保護者会はZoom開催です。苦手な人が取り残されることのないようにと、父母会役員さんと相談して練習日も設けました。小さなたくさんの窓からは、人となりや、その人の生活の匂いが、対面の時よりも感じられます。つながった瞬間、思わず手を振り合ったり、保護者からは緊張せず話せるという感想をもらったり「つながり」を実感しています。いろいろな事情で自宅を離れられず、今まで全国集会に参加できなかった人も、オンライン集会はつながりを実感できるチャンスです。私も全国の人と「父母と共に作る保育内容」について一緒に学びたいと思っています。

提案者・分科会運営委員の声

白瀧宏子（障害児保育分科会提案）

『自分でやる 自分もやる みんなとやる みんなもやる』の提案をさせていただいたんぼぼ保育園・白瀧です。不自由さはあっても…何にでも積極的な M ちゃんと仲間たち。いろいろあって「今」がある。共に進んできた年長児クラスの一年をお伝えできることがとても嬉しいです。去年度の第 59 回の提案号も併せて読んでくださいね～。

全国の医療的ケアを行いつつの保育現場の様子も交流できたら嬉しいです。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

梶田祐里子（集団づくり分科会提案）

集団づくり分科会に提案をする梶田です。これまで何度も全国集會に参加してきましたが、提案者として参加するのは初めてです！とてもドキドキしています。

今回提案させていただくのは、私が 5 歳児クラスを受け持った時の実践です。一緒に組む職員とたくさん話をし、子どもたちと過ごしてきました。それぞれ個性を持った子どもたちが集まるクラス。どのように個々の課題を乗り越え、仲間関係を深めていけばよいかを迷いながらも必死に考えた一年でした。

同じクラスはひとつもないけれど、“集団づくり”という点は、大切にしたいこととして共通だと思います。当日は、Zoom で顔を合わせて、様々な意見交換ができることを楽しみにしています！

佐々木雄大（身体づくり—運動—分科会運営委員）

いよいよ東京集會が近づいてきましたね。今回の分科会では、1 歳児、3 歳児、0・1 歳児と 3 本の実践が提案されています。内容も散歩、ボール遊び、巧技台など様々です。ボールの選び方や巧技台の設定、散歩の距離の課題など、提案者を尊重したうえで、大いに検討したいと思います。

また、分科会案内で千葉直紀さんが書いていた、現在の子どもたちの様々な問題を踏まえながら、参加者・提案者・運営委員で意見交換を行いたいと思います。

- ① 子どもたちが身体を動かすことの喜びを感じられるように
- ② 運動の実践を行う際に、その過程が保育者からも子どもからも大切にされるように
- ③ 目の前の子どもたちの心と身体の豊かな育ちを意識した保育実践が尊重されるように

当日は充実した時間を共有しましょう！

第60回 全国保問研集會 東京集會(オンライン)

2021年6月12日(土)13日(日)20日(日)

保育問題研究会の原点 学びを止めない



保育問題研究会は、戦前・戦中・戦後そしていかなる災害下においても仲間が集い、学びへの探求心を持ち続け今日で85年を迎えました。新型コロナウイルスの脅威に晒される今もなおその精神が衰えることは決してありません。今だからこそ保問研85年の歴史に学び、オンラインであっても人と人とのつながりを再確認し、学びを継続していきます。

東京集會 HP
申し込みはこちらから!!



↓ URL はこちらです ↓

<https://confit.atlas.jp/zenhomon2021>